



第 1612 回例会

平成 22 年 4 月 19 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~
ゲスト卓話 海南税務署長 尾上 好生 様

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. ゲスト紹介 海南税務署署長 尾上好生様

4. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 50 名

出席率 72.46% 前回修正出席率 72.46%

5. 会長スピーチ

会長 花畠 重靖 君

みなさんこんにちは。

海南税務署長の尾上好生様。
御多忙のところゲスト卓話に
お越しくださいましてありがとうございます。
よろしくお願ひ致します。

4月17日(土)、18日(日)と地
区大会の参加、ご苦労様でした。

寺下君 地区特別感謝状おめでとうございます。また、
当クラブは地区広報活動賞表彰されました。記今公講
演で、東京大学名誉教授の月尾嘉男様の「足元の宝物
で地域再生を」との講演がありました。

税務署長さんの前で恐縮ですが、今、木伐界はすぐ
く不況です。講演の中で和歌山にはこんなに立派な宝
物(林業)がありながら外伐輸入して郊外から7倍の
ロスがある。



6. 幹事報告

幹事 寺下 卓 君

○メイキャップ

和歌山東南 RC 4月14日 中村 雅行君

○例会臨時変更のお知らせ

有田南 RC

4月27日(火)→4月27日(火) 18:30~
レストラン「へそまがり」

岩出 RC

5月13日(木)→5月13日(木)
早朝例会 午前7時より
大宮神社周辺清掃活動

○休会のお知らせ

和歌山東 RC 5月6日(木)

岩出 RC 5月27日(木)

○5月ロータリーレート

1 \$ = 92 円

7. ゲスト卓話

海南税務署長 尾上 好生 様

みなさん、こんにちは。日
頃は、納税申告に格別のご協
力をいただき、厚く御礼申し
上げます。

本日は税務署が行う徴収業
務について、DVD等をご覧
いただき、ご理解を深めてい
ただきたいと思います。どう
か、よろしくお願ひします。



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畠 重靖 幹事：寺下 卓 SAA：名手 広之

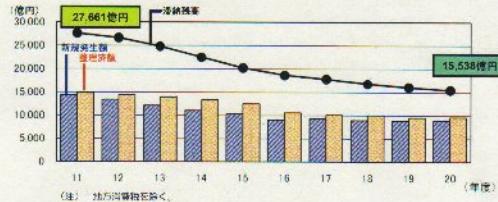
徴収事務の充実

～滞納の整理促進③悪質な滞納者に対する対応～

悪質な滞納者に対する対応

- ・適時の財産調査・検索の実施
- ・差押え・公売などの滞納処分の実施
- ・プロジェクトチームによる滞納処分の実施
- ・詐害行為取消訴訟等の原告訴訟の提起
- ・滞納処分免脱罪による告発

滞納整理中のものの額、新規滞納発生額、整理済額の推移



徴収事務の充実

～滞納の整理促進④Web-TAX-TV「国税徴収官の仕事」～



8. 閉会点鐘

次回例会 第 1613 回例会：22 年 4 月 26 日(月)
海南商工会議所 4F 12:30～

ゲスト卓話

「名草王国について」吉田 博信様 (和歌山中RC)



ニコニコ・BOX

○一般ニコニコ

- 花畠重靖君 17 日（土）18 日（日）と地区大会御出席ごくろうさんでした。
地区広報活動賞、当クラブが表彰されました。
- 辻 君 孫がこいのぼりをあげました。
寺下 卓君 昨日は地区大会の参加、ご苦労様でした。皆さんありがとうございました。
地区大会感謝状いただきました。
- 岸 友子君 尾上税務署長様、今日は卓話ありがとうございます。
- 山東剛一君 ニコニコしています。
- 谷脇良樹君 4 月 17、18 日の地区大会 花畠会長、寺下幹事にお世話になりました。

ハイチの救援から長期的復興活動へ

去る 1 月 12 日にハイチを襲った大地震では、30 万人が亡くなり、120 万人が家を失ったほか、国内のインフラは壊滅状態となりました。これを受け、復興を支援するためにロータリー財団が設けた使途推奨冠名基金、ハイチ大地震救援基金には 130 万米ドルが集まっています。

ハイチを含む第 7020 地区はこれまで、飛行機 100 機以上に医療品、食糧、水、衣類、玩具、テントなどを積んで、ピニョンとポールドペへ送りました。地区が独自に設けた復興活動用の口座には 40 万米ドルが集まっています。この資金は継続的な復旧プロジェクトに使用される予定です。

復旧活動を監督しているハイチ支援グループは現在、長期的な計画を立てていますが、中でも特にニーズが大きいのが、学校の再建設、手や足を失った人への義肢の提供、そして雨季が訪れる前に何千人分ものシェルターを確保することです。

ハイチにある 17 のロータリー・クラブは、学校を 1 校でも修築し、机、本、文具、そのほかの教材を揃えて開校できる状態にしようと計画中です。学校の再建が優先されるのは、教育のためだけでなく、学校で少なくとも 1 日 1 食を提供し、子供たちが避難テントの外へ出て混乱から少しでも離れた環境で生活できるようにするためです。

義肢の提供も非常に重要です。地震による負傷で推定 4 千人が手や足を失い、義肢を必要としています。第 7020 地区は、委員会を任命し、義肢の提供に関心のある他団体と調整を図っています。さらに、3 つの診療所（各診療所に必要な費用は 5 万ドル）も設置したいと考えています。

ハリケーンのシーズンを控え、嵐や地震にも耐えうるシェルターを調査する委員会も任命されました。水、衛生施設、診療所、学校、コミュニティセンターを含め、必要なインフラの整った村をつくるのもアイデアの 1 つとして検討されています。

4 月はロータリーの雑誌月間です



ハイチの首都、ポルトープラヌでテントに集まる子供たち。ハリケーンのシーズンを控え、嵐や地震に耐えうるシェルターを探すことが最も重要な課題です。（写真提供：第 4060 地区）